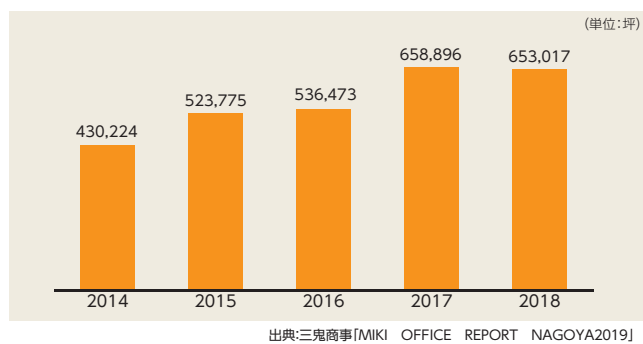


# 名古屋駅プロフィール

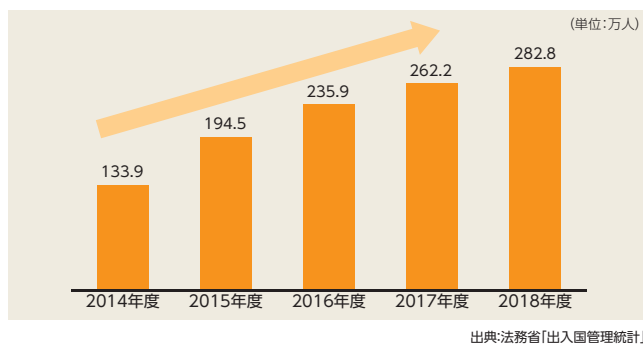
## 世界の名古屋へ急速に発展を続ける「名駅地区」

ものづくりの街として栄え、製造業が発展している東海地区。その中心である名古屋市は近年急速な経済発展を迎えており、2027年リニア中央新幹線の開業を控え、さらなる景気拡大が期待されています。特に名古屋駅を中心とした名駅地区では大規模な開発が進み、「JRゲートタワー」をはじめ多くのビルが並び、オフィス面積も大幅に増加しました。また、百貨店売り上げ額は栄地区を抜いてTOPとなり、オフィスビジネス・商業機能ともに名駅地区への集中が進んでいます。リニア中央新幹線が開業すれば東京-名古屋間が40分で結ばれ、ものづくりの拠点「名古屋」と日本の中心「東京」の結びつきがさらに強くなります。中部国際空港のある名古屋を通して日本に来る外国人も増加することが予想され、今後も名古屋はさらなる発展の可能性を秘めています。

●名駅地区 オフィス延床面積

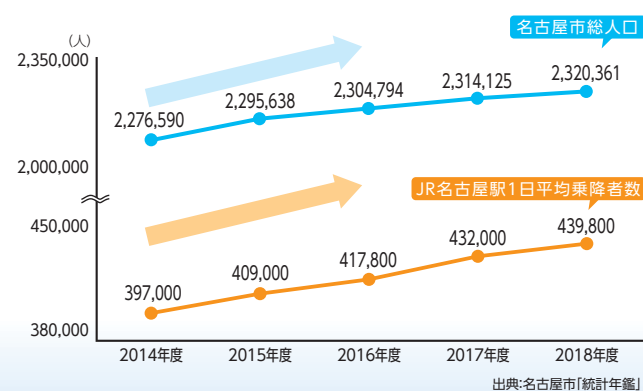


●中部国際空港 外国人旅客数推移



## ついに人口230万人突破！ 好調な雇用情勢による労働人口の増加

名古屋市の人口はここ数年急速に増加しており、2016年度に人口230万人を超えてからも増加を続けています。また、2017年度の人口転入超過数は1万人を超えており、多くの人が他地域から移り住んできていることがわかります。労働力人口・就業者も大型再開発に伴って上昇しており、名古屋は日本の大都市の一つとして更に期待が高まっていくことが予想されます。



## JR東海主要駅の乗降人員は堅調に推移

JR名古屋駅は2015年に乗降人員が40万人を超え、今もなお増加を続けています。その他JR東海主要駅の乗降人員も堅調に増加しています。名古屋市内の駅では、駅複合施設の再開発が進む金山駅、ナゴヤドーム好アクセスの大曽根駅、名古屋市の外では駅北口の大型再開発が進む刈谷駅の乗降人員が好調な伸び率となっています。特に大曽根駅、刈谷駅については近年の増加により2014年からの伸び率が1番高くなっており、注目の駅となっています。

●JR東海 名古屋地区主要駅 乗降人員伸び率

駅名	2014-伸び率	2014年度乗降人員(千人)	2018年度乗降人員(千人)
名古屋	110.8%	397.0	439.8
岐阜	103.2%	62.4	64.4
尾張一宮	104.6%	52.2	54.6
刈谷	112.9%	63.8	72.0
岡崎	107.0%	34.2	36.6
豊橋	106.9%	54.8	58.6
金山	111.2%	126.6	140.8
鶴舞	104.1%	38.8	40.4
千種	101.4%	56.2	57.0
大曽根	112.9%	57.6	65.0
高蔵寺	102.5%	40.0	41.0

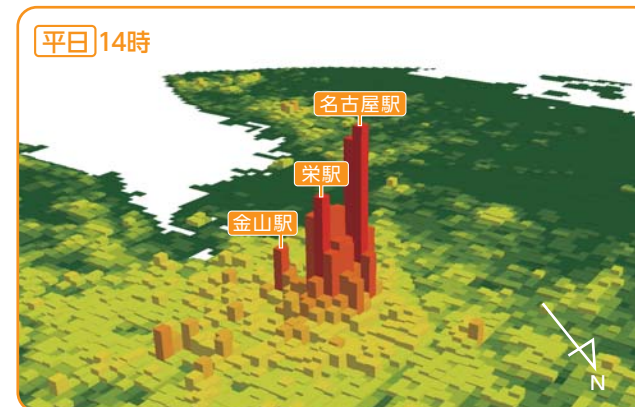
※JR東海公表(2018年度)の乗降人員の2倍として、ジェイアール東海エージェンシーにて算出(在来線・新幹線合計)

# JR名古屋駅

1日平均乗降人員.....439,800人

連絡線 東海道新幹線 / 東海道本線 / 中央本線 / 関西本線 / 名鉄 / 近鉄 / 地下鉄 / あおなみ線

●名古屋駅周辺人口分布ヒートマップ



モバイル空間統計\*による調査結果より、ジェイアール東海エージェンシー作成

## 活発な消費活動を背景に、にぎわい広がる

新幹線をはじめ、在来線、私鉄、地下鉄、バス等が接続し、交通の一大拠点となっている名古屋駅。その利便性の高さから、平日・休日を問わず多くの人でにぎわいを見せています。近年では続々と商業施設が開業し、シネマコンプレックス等のレジャー施設も充実。利用客の多様なニーズを満たし、活発な消費の場となっています。また、オフィスの集積地でもあることから、仕事帰りの買い物や食事利用等、ビジネスパーソンも有力な消費者となっています。

名古屋駅利用者(週1回以上)が、週に4~5回以上利用する駅(=併用する駅)

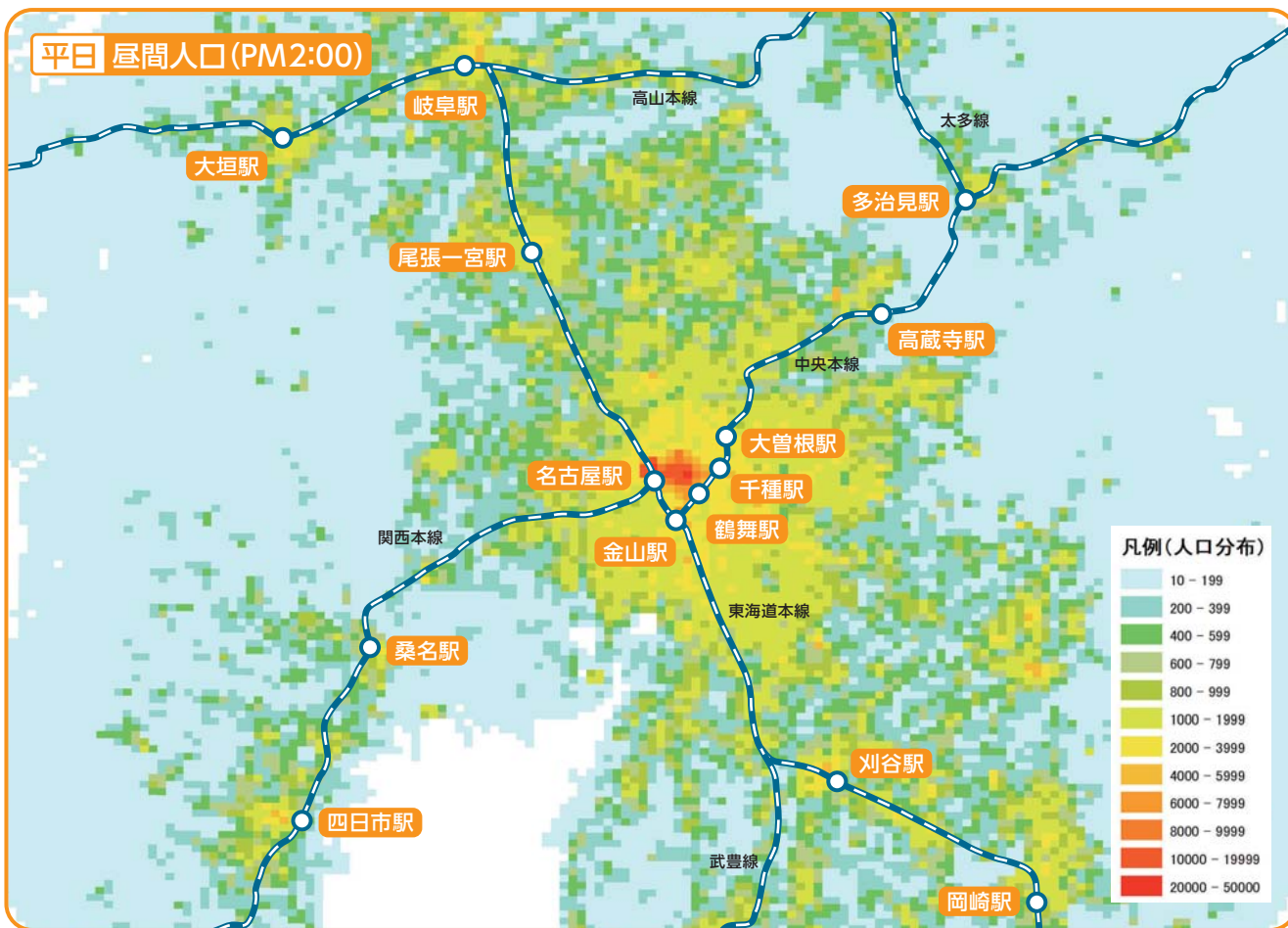
- 名古屋駅 → 尾張一宮駅...54.4%
- 名古屋駅 → 岐阜駅...44.3%
- 名古屋駅 → 高蔵寺駅...40.1%
- 名古屋駅 → 鶴舞駅...39.1%





# 在来線プロフィール

## ● 在来線主要駅周辺 人口分布マップ



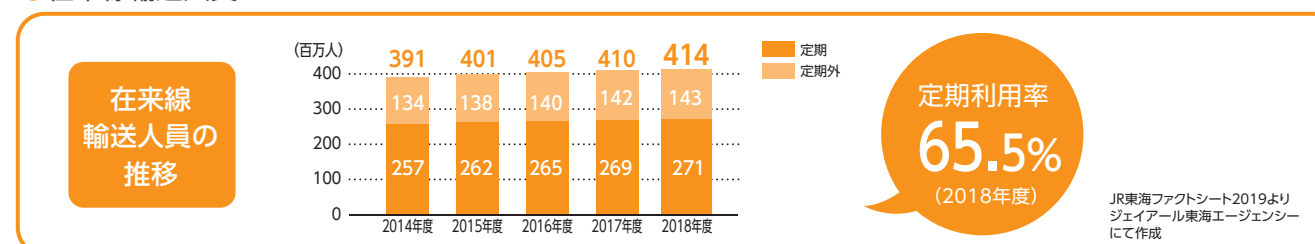
## ■ 東海エリアの生活者に密着した在来線

JR東海在来線は、名古屋駅を中心に周辺の主要都市を短時間で結び、アクセスも良好。毎日の暮らしに欠かせない交通手段となっています。日常の動線上にあり、多くの人の目に触れる在来線メディアは、反復接触による高いプロモーション効果が期待できます。また、名古屋駅、金山駅、大曽根駅、豊橋駅等、主要駅の多くは複数の路線が乗り入れるターミナル駅となっていて、幅広い利用客に訴求することが可能です。

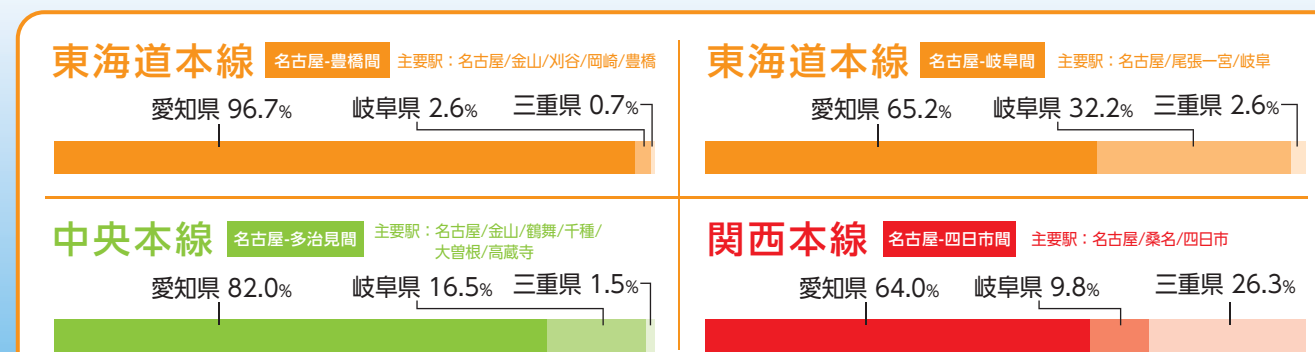


<b>岐阜駅</b> 名古屋駅から快速列車で約20分で行ける岐阜県の中心駅 1日平均乗降者数：64,400人 連絡線：J東 名	<b>尾張一宮駅</b> 名古屋駅から快速列車で1駅というアクセス良好な駅 1日平均乗降者数：54,600人 連絡線：J東 名	<b>鶴舞駅</b> 緑豊かな住みやすい街のある駅 1日平均乗降者数：40,400人 連絡線：J中 地	<b>金山駅</b> 名古屋駅に次ぐターミナル駅 1日平均乗降者数：140,800人 連絡線：J東 J中 名 地
<b>千種駅</b> 高級住宅街と学習塾がならぶ駅 1日平均乗降者数：57,000人 連絡線：J中 地	<b>大曽根駅</b> ナゴヤドームへのアクセスに便利な駅 1日平均乗降者数：65,000人 連絡線：J中 名 地	<b>高蔵寺駅</b> 大規模ニュータウンのある駅 1日平均乗降者数：41,000人 連絡線：J中 愛	<b>刈谷駅</b> 自動車関連企業が多く乗降者数も上昇中の駅 1日平均乗降者数：72,000人 連絡線：J東 名
<b>岡崎駅</b> 商業施設や高層マンション建築が進む駅 1日平均乗降者数：36,600人 連絡線：J東 愛	<b>豊橋駅</b> 東三河エリアの拠点となる大型ターミナル駅 1日平均乗降者数：58,600人 連絡線：新 J東 J阪 名 豊	<b>連絡線</b> 新 東海道新幹線 J中 中央本線 J東 東海道本線 J阪 飯田線 地 地下鉄 名 名鉄 愛 愛知環状鉄道 豊 豊橋鉄道	

## ● 在来線輸送人員



## ● 主要路線 利用者居住地



人口分布マップ:モバイル空間統計\*

\*500mメッシュ単位で人口を推計  
 \*対象期間:2019年10月  
 \*調査機関:株式会社ドコモ・インサイトマーケティング  
 【モバイル空間統計】は株式会社NTTドコモの登録商標です。

乗降人員:JR東海公表(2018年度)の乗車人員の2倍として、ジェイアール東海エージェンシーにて算出。  
 (名古屋駅、豊橋駅は在来線+新幹線合計)

ジェイアール東海エージェンシー JR東海在来線 路線プロフィール調査2017

\*調査時期:2017年12月 \*調査方法:インターネットリサーチ \*対象者:愛知県・岐阜県・三重県居住者・サンプル数:2000サンプル  
 \*対象路線:主要4路線 JR東海道本線(名古屋-豊橋間)、JR東海道本線(名古屋-岐阜間)、JR中央本線(名古屋-多治見間)、JR関西本線(名古屋-四日市間)  
 \*対象者条件:各路線を週1回以上利用する人 \*調査機関:株式会社ジェイアール東海エージェンシー 株式会社クロス・マーケティング